備えあれば

校長　菊池　幸博

３７日間の夏休みを終え、まだまだ暑い日差しの中、子どもたちの声が学校に戻ってきました。いよいよ２学期のスタートです。９月には宿泊体験学習(４・５年）、１０月にはスポーツフェスティバル、１１月には修学旅行(６年)、１２月には森東フェスティバルと大きな行事が続きます。その間に他の学年でも校外学習が予定されています。まさに行事の２学期であり、体験等を通しての学びの２学期でもあります。

保護者や地域の皆様には様々な面でお支えいただくこともあるかと思われますので、どうぞよろしくお願いいたします。

１９２３年９月１日、関東大震災が起きました。死者、行方不明者が１０万５０００人と言われていますが、この数字は東日本大震災のおよそ１０倍にあたります。もちろん単純に比較はできませんが、当時の地震による被害の大きさが伺えます。その関東大震災から今年で１００年。私たちの生活は大きく変わりましたが、大災害からの教訓は今でも生き続けています。

学校では９月１日が「防災の日」ということもあり、毎年この時期に「総合防災訓練」を実施しています。これは、子どもたちが学校にいる時間帯に、大規模地震が起きたことを想定して行われる避難訓練です。けが人の設定や、避難経路の安全の確認など通常の避難訓練よりもやや内容を拡大して行います。地震を含む自然災害はいつどのような規模でやってくるか、なかなか正確な予想ができません。実際には起きてほしくはありませんが、万が一の時、日頃の訓練での経験が生かせ、命を守る行動がとれるように準備を進めていきます。ご家庭でも集合場所や、数日間の水分や食料の確保など、日頃の備えについてご確認ください。また、１１月１９日(土)には地域防災拠点訓練が予定されています。参加についてもご家庭でご検討ください。

＜繰り返しのお知らせ＞

森東小学校では令和６年度より、授業時間の確保や小中一貫教育の整合性を理由とし、学校二期制を実施する準備を進めています。ご意見やご質問があれば、学校にご連絡いただけますようお願いいたします。